

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	992.53	2023/04/03
High	1029.59	2023/04/05
Low	981.32	2023/04/03
Close	1011.38	2023/04/07

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4251.00	2023/04/03
High	4360.00	2023/04/05
Low	4195.00	2023/04/06
Close	4284.00	2023/04/07

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	1460.00	2023/04/03
High	1499.24	2023/04/03
Low	1415.70	2023/04/03
Close	1466.31	2023/04/07

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	6197.00	2023/04/03
High	6399.00	2023/04/03
Low	5985.00	2023/04/06
Close	6210.00	2023/04/07

ニュースエクスプレス

溶鉱炉を使わない低エネルギーのプラチナ抽出加工、オーストラリアで研究開発進む

豪Podium Minerals社により、エネルギー消費の多い高温冶金法による製錬ではなく、エネルギー消費が少ない湿式製錬によってPGMを回収する開発が進められている。

Podium は、西オーストラリア州の Parks Reef PGM プロジェクトにて、溶鉱炉を使わない画期的な技術でプラチナを取り出すことに成功した。

「我々は PGM市場とPGMのコモディティーセクターをオーストラリアに設立する機会を伺っている。我々の技術で、欧州の主要精錬所でも利用できるような高品質な商品の生産が可能となるだろう。」とするのは Podium Minerals のマネージングディレクターで CEO のSam Rodda 氏。

昨年11月の取材の時点では、溶鉱炉を使わずに、最終的には精錬過程のための材料生産を目指す湿式製錬の試験が行われていた。

同社はオーストラリア証券取引所に上場されている企業で、その後 21 になるリーチング最適化テストを行い、実験レベルでさらに多くの金属を取り出すことに成功している。フルスケールの操業が可能な浸出能力が測れるようになるまでに研究開発はさらに必要としている。

一方で、ある条件の大气下のリーチング過程では90%以上のプラチナを取り出すことに成功した。

グリーン水素を製造する固体高分子型水電解装置に使われるプラチナとイリジウムの製錬は注目を集めている。固体高分子形燃料電池はまた、モビリティと定置型燃料電池で、水素から発電するために利用される。

「我々の焦点は、大气下でのリーチング実験で金属を取り出す効率を上げることだが、同時にこの過程で生じるスラグを最小限にすることと、エネルギー消費をいかに減らすかという点についても検討している。」

「我々が行った 21 の実験は全てこの3つの点を中心に行われたが、特にプラチナ、その他イリジウム、ロジウム、その他鉱石に含まれるペースメタルをいかに多く取り出すかが最大の焦点だ。」

<https://www.miningweekly.com/article/smelterless-low-energy-platinum-processing-concept-advances-further-in-australia-2023-03-31>

普通乗用車販売、回復基調だが、ペースは弱まる可能性

第一四半期末の米国の新車の在庫レベルは一年前と比べると 70% 高い（出典：Cox Automotive）が、その前年よりは確実に低いままで、サプライチェーンの問題は2023年に入って解消に向かうも、自動車生産は半導体不足問題が浮上する前の水準に戻っていないことを示している。それ以外にも自動車販売の回復への道には、最大の普通乗用車市場である米国と欧州の経済の先行き不安と高い金利という障害が残っている。

年初の普通乗用車販売は比較的好調（2月は9.6% 増で 110万台）にスタートしたが、米国の普通乗用車販売は、金利がさらに上昇したため第1四半期の終わりに向けて勢いを失った。2023年の世界の自動車触媒のパラジウム需要は前年比で少し減って 236.4トンとなる予測だが、北米の需要は普通乗用車生産が順調に回復するためわずかに増えるとされている。販売に影響するリスクは消費者の購買力で、普通乗用車の 80% 以上がローンによる購入、ローンの平均支払い金額は現在一月784ドル（出典：Cox Automotive）となっており、コロナ禍以前の水準よりも 30% 高い。

新たなローンや借り換えの金利が上がって、毎月の支払い金額はさらに上がると予想され、普通乗用車市場の自動車触媒のパラジウム需要を押し下げるだろう。この市場はさらに、PGM を使わないバッテリー電気自動車との競争もあり、特に欧州と中国ではバッテリー電気自動車の2月のマーケットシェアは其々 12% と 21%にまで上がっている。

https://www.heraeus.com/media/media/hpm/doc_hpm/precious_metal_update/en_6/Appraisal_20230403.pdf#msdynttrid=hvCvf7qvz31L5mNFMKZy_B-EU7AkobtbBRly-n1-vkQ

Translated by Osawa KAZUKO

WPIC直近の活動

- 『プラチナ四半期レポート』最新号では2022年第4四半期のデータと2023年の最新見通しを発表したが、本稿は2024年から2027年のプラチナ需給予測の更新となる。需要の全体像は前回の予測とほぼ変わらない一方で、供給の方は鉱山会社が生産目標を修正したことを受け、我々も鉱山供給の予測を下方修正した結果、供給不足が多少拡大することになった。供給減のリスクを高めている主な背景は南アフリカの電力問題と対ロシア制裁である。詳しくはプラチナ投資のエッセンス（2023年3月号）をご覧ください。
<https://platinuminvestment.com/investment-research>



@wpicjapan

免責事項：本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資提案を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。